

桑名駅
東口周辺

桑名駅自由通路および橋上駅舎事業における効果を最大限に生かし、新たなにぎわい創出と利便性向上に伴うさらなる交通結節点の機能強化を図るため「桑名駅周辺複合施設等整備事業」として、桑名駅東口の駅前広場整備の検討を進めています。

昨年、優先交渉権者に決定した長島観光開発株式会社と「桑名駅周辺複合施設等整備事業に関する基本協定」を締結し、駅前広場の整備についての協議を継続的に行っています。

【駅東口広場のイメージ案】



計画のため、今後変更の可能性があります。

- ホテルは、ロビーのほか、カフェやコンビニなどの併設を予定しています。
- 2階デッキで周辺施設と接続。1階が雨にぬれないので、待ち合わせにも便利。
- 駅前ロータリーには、一般車用、タクシー用、障害者・高齢者用などの乗降場ができます。

- 桑名の物産販売や観光案内所などで、市の魅力を発信します。また、駅前イベント広場で、季節のお祭りやマルシェの開催ができます。



中心市街地の活性化に向けて

駅周辺の指定する地区において、延べ床面積 1,000㎡以上の建築物を計画する際に、低層階に商業業務などを配置する規制をかけた、桑名市商業業務誘導地区建築条例を平成 30 年 4 月に施行し、駅東地区に特別用途地区の商業業務誘導地区を指定していましたが、今年 9 月から、この特別用途地区の範囲を駅西地区まで広げました。

東西の駅周辺に商業業務が集積することで、中心市街地に人が集まり、にぎわいが生まれるだけでなく、生活サービス機能が充実し、歩いて暮らせるまちづくりにつながります。

桑名駅
西口周辺

現在、桑名駅西口では、自由通路供用開始に合わせて整備した暫定ロータリーが利用できます。駅西口の利便性向上のため、令和 4 年度から暫定ロータリーの北側に路線バスの乗り入れが可能となる駅西広場の整備工事に着手し、令和 6 年 4 月の供用開始をめざします。路線バスの乗り入れが可能となることで、乗り継ぎ時間の短縮につながります。

また、現在の暫定ロータリーの場所は、将来公園が整備される計画となっており、駅西広場の完成後に整備を進めていく予定です。



現在の駅西口暫定ロータリー



桑名駅西広場基本案(基本案のため今後修正が生じます。また、隣接の公園部分はイメージです。)



昨年 8 月 30 日にリニューアルした桑名駅

5 年後の
めざす姿

08

桑名駅および
周辺整備

暮らしやすくにぎわいある、コンパクトなまちになっています。

課題は？

昨年 8 月に桑名駅自由通路および橋上駅舎が完成し、桑名駅が約 50 年に生まれ変わりました。市では、にぎわいのある安全で利便性の高い駅、より満足度の高い中心市街地となるよう、駅周辺の整備に取り組んでいます。

交通結節機能の強化

市の玄関口として、駅利用者が便利で安全に利用することができるよう、鉄道やバス、タクシーなど、さまざまな交通手段の接続が行われる拠点を強化する必要があります。

また、通勤通学、買い物など市民が生活しやすい場とホテルや飲食店、観光案内所など、観光やビジネスに訪れた人の利便性を図る、にぎわいのある観光交流の拠点づくりが必要です。

コンパクトシティの実現

人口減少や少子高齢化社会に対応するため、病院や福祉施設などの医療環境と商業施設などのにぎわい環境を駅周辺の中心市街地に集め、自動車を必要としない、歩いて暮らせる誰もが暮らしやすい、コンパクトなまちづくりの整備が必要です。



11 住み続けられるまちづくりを



SDGsとは、2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットで構成されています。市でも「誰一人取り残さない」まちづくりを進めています。

桑名駅および周辺整備

安全で便利なまちづくりを進めます。

●都市交流拠点の整備



5年後のめざす姿



- 駅東西広場、自由通路、JR・近鉄の橋上駅舎および養老鉄道の駅舎が整備された桑名駅
- 桑名駅東西の行き来がしやすくなり、交通の機能が強化
- 都市機能の再構築により、にぎわう駅周辺

市が取り組みます！



- 有識者や市民を代表する人と策定した「桑名駅周辺地区整備構想」に基づいて駅前整備を進めます。
- 桑名駅周辺の事業の進捗状況について、ホームページや広報くわななどで情報を発信していきます。

指標

交通結節点の機能を強化

5年後増加へ

桑名駅旅客乗車人員数

令和元年度実績

7,137,899人

1日あたり

約 19,555人

市民が取り組みます！



- まちづくりに関するイベント・活動などに参加して、にぎわいづくりや地域の魅力づくりに取り組みましょう。

A

現在、駅東口および西口側に車いす対応のエレベーター、西口側にエスカレーターを設置していますが、市では、桑名駅東口広場整備を計画しており、この整備の中で北勢線やバスロータリー、駅周辺の施設などへの歩行者動線を考慮したエスカレーターの設定を計画しています。しばらくの間、ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。(駅周辺整備課)

Q

桑名駅自由通路および橋上駅舎が供用開始されましたが、なぜエスカレーターは駅西口側にしないのでしょうか。

市民編集員の「これも聞きたい」



佐藤さん 70代



①駅西口側のエスカレーター ②駅東口側のエレベーター

現在

計画的に駅および周辺の整備を進めています

- 桑名駅自由通路および橋上駅舎が完成したことで、踏切へ迂回しなくても駅の東側と西側を往来できるようになりました。



東西をつなぐ桑名駅自由通路

- 駅西側地区では、安全で快適な生活がおくれるよう、道路の幅を広くしたり、下水道などのインフラ整備を行うなど、土地区画整理事業を進めています。



蛸塚益生線と周辺の整備工事

現在、駅の交通結節点機能の強化を図るため、駅西口へのアクセス道路を中心に整備を進めています。

過去

整備前の駅周辺

- 桑名駅の東西を行き交う際には、駅の入場券を購入し改札内を通るか、踏切まで迂回しなければいけませんでした。

- 駅西側の地区は、旧来の木造家屋が密集して立ち並び、道路の幅が狭く、交通渋滞や交通安全、防災面などで不安を抱えていました。



旧桑名駅西口

この記事に関するお問い合わせは、秘書広報課へ (☎ 24-1492 FAX 24-1119)

市長とみんなのネクストビジョン

No.8 桑名駅および周辺整備



特集「桑名市総合計画をひもとく」の第8弾は「桑名駅および周辺整備」です。早いもので、桑名駅がリニューアルして1年が経過しました。約50年ぶりのリニューアルで、当初はあまりの変貌ぶりに戸惑われる人たちもおられました。ようやく皆さんの暮らしになじんできたのではないのでしょうか。市民の皆さんからも「駅が新しくなって良かったね」との喜びの声をいただきます。便利になっただけでなく、桑名

の雰囲気明るくなったとの声をいただくことが多いです。桑名市としては、駅のリニューアルはまだ通過点であり、駅周辺ににぎわいができるようなまちづくりを進めていきます。

まず東口の広場整備は、長島観光開発株式会社と一緒に進めていきます。今の構想では、ホテルが建ち、その1・2階には店舗やコンビニが入る予定です。また、市の魅力を発信する拠点として、石取祭の祭車の展示や、桑名の土産を購入できる施設も予定しています。行政だけで整備すると、変化の激しい時代、数年後には「誰も喜ばない」広場になっている可能性もあります。民間のノウハウを生かして整備をすることで、長期間にわたって市民の皆さんのニーズに答えられるまちづくりができると思います。ちなみにこの広場を整備するタ

イミシングで東口にもエスカレーターが設置されますので、もうしばらくお待ちください。駅の西口整備についても着々と進めています。今は暫定のロータリーが作られていますが、これはあくまでも仮の形。今後は、駅の北側、つまり元々桑名駅西口があった場所に、路線バスが乗り入れできるようにロータリーが、また、暫定のロータリーの場所に公園が整備される予定です。令和6年には新しい西口ロータリーが完成する予定です。このスケジュールに合わせて、西口までスムーズにアクセスできるよう、桑名駅西側地区画整理事業を進めていきます。

今後は、桑名駅のさらなる利便性の向上と、市民の皆さんにとって満足度の高い中心市街地となるよう、地域の皆さんや民間事業者などと共に取り組んでまいります。



桑名駅東口はにぎわいが創出され、皆さんが楽しく快適に過ごせる空間を作っていきます。